

# 松聾キャリア教育通信



第30号  
進路支援課

年度末となりました。今年度を振り返ってみて、どのような経験をし、どのような新しいことができるようになったでしょうか？みなさんは、一年の間に必ず新しい経験をしていますし、去年できなかったけれど今年ではできるようになっていることがいくつかあるはず。それはみなさんの「成長」の証です。自分の「成長」を感じ、「自分ではできるようになるんだ」ということに確信を持ってほしいと思います。そのために、今年、どのようなキャリアアップを果たすことができたか、思い起こしてみましよう。

## ☆ 聴覚障がいのために必要な配慮、自覚していますか？

自分の将来について考え、目標を定めて日々の学習活動に取り組んでいくことは、進路実現のために欠かすことのできない大事な習慣の一つです。学年や発達各段階で必要となる、このキャリア形成は、一人一人の能力や実態により違ってくるでしょう。ただ、社会人になるまでに、是非とも皆さんが共通して身に付けておかなければならない力の一つに、「自分のことを相手に分かるように伝える力」が挙げられます。それは具体的にどういったものでしょうか。

聾学校では、手話通訳や文字保障のほか、FMシステムなどにより、音声情報を可能な限り伝達するための様々な配慮がなされます。このように、在学中は自ら要求せずとも受けられる当たり前の配慮が、いざ社会に出れば全くと違っていいところか、仮にあったとしても、自分が本来望むものであるとも限らなかつたりするでしょう。そこで大事になるのが、聴覚障がいである自分が、どんな手段で音声情報を取り入れたいのか、そのことを相手や周囲に上手に説明して理解を得ようとする行動力なのです。そのためにはまず、自分の聞こえの状態やコミュニケーション手段など、相手に的確に説明し、理解や協力が得られるよう働き掛けなければなりません。それは頭の中で分かっているとしても、いざやるとなれば、勇気が必要であったりと、案外難しいものです。学校内外のあらゆる場面で、可能な限り今から意識して取り組んでみましよう。



自分のことを相手に上手に伝えられるようになるには、まず自分をよく知ることが前提になります。自分をよく知ること、キャリア形成の上でも自分の進路や職業適性を見極める上でとても大事なことです。以下の表は、本校の『キャリア発達を促す学習プログラム』を簡略化したものですが、網掛け部分が上の内容に大きく関わってきます。

| 領域               | 主な内容  | 求められる力                            |
|------------------|---|-----------------------------------|
| 人間関係形成・社会<br>成能力 | 多様な他者の考えや立場を尊重しながら対人関係を築き、協力、協働して物事に取り組む。                       | 自他の理解能力<br>コミュニケーション能力            |
| 自己理解・自己管理<br>力   | 自分のことを正しく知り、思考や感情を律しながら自己の進路や生き方の選択に生かす。また、社会参加の上で自分に必要な配慮を求める。 | 情報収集・探索能力<br>職業理解・適性判断能力<br>障がい認識 |
| 課題対応能力           | 与えられた自分の役割の中で、あらゆる課題を分析し、解決に向けて取り組む。                            | 役割把握・認識能力<br>課題解決能力               |
| キャリアプランニ<br>グ能力  | 自らの意思と責任で物事に計画的に進路実現に向けて取り組みながらキャリアを形成していく。                     | 選択能力<br>計画実行能力                    |

## ☆キャリアを積み重ね、新たなステージへ。

卒業生のみなさん、ご卒業、おめでとうございます。4月からの新たなステージでのご活躍をお祈りしています。その卒業生の中でも、これまでとは大きく生活が変わる、高等部3年生と、中学部卒業後、県外の学校に進学する予定の鶴崎さんと吉岡さんに、「進路希望を叶えるために必要となった力」は何か、教えてもらいました。

### 高等部3年 津田隼利さん

僕は株式会社いぶきというところで、クリーニング関係の仕事に就きます。進路希望を叶えるために、体力と、忍耐力、コミュニケーション力が必要でした。それらを身に付けるために、毎日体調管理を意識して生活しました。そして、めんどろなことからすぐ逃げないで、最後までやり遂げるように頑張りました。コミュニケーションでは、相手にうまく伝えられるよう工夫しました。僕は今まで体験したことがないことにも積極的に参加をしてきました。皆さんもぜひ、色々なことに挑戦し、頑張ってください。応援しています。



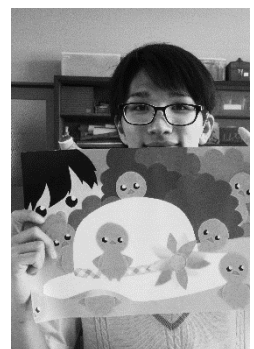
### 高等部3年 南皓太さん

僕は卒業後、高須賀製作所というところで金属加工の仕事を行います。僕が就職をするために必要だったのは、あいさつをすることと、コミュニケーションの力、それと運転免許です。あいさつは、毎日の生活の中で身に付けてきました。コミュニケーションの力を付けるためにたくさんの人と対応する機会をもらいました。運転免許を取るには、筆記試験があるので、日本語の文を読む力が必要です。在校生のみなさん、自分の気持ちを相手にきちんと伝えることが何より大切です。通じにくくてもあきらめず、頑張ってください。



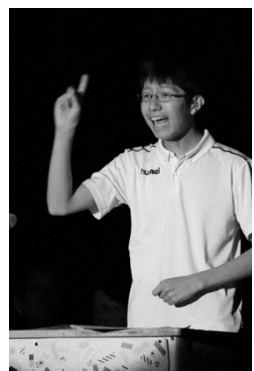
### 高等部3年 吉岡友寛さん

私は4月から、筑波技術大学の総合デザイン学科へ進学します。進学を決意するには、新しいことに挑戦しようという勇気が必要でした。私は最初、知らないものが怖くて進路を決める時も一歩踏み出す勇気がありませんでした。しかし、様々な経験を通して、高3にしてようやく進路を自分で決め、希望を叶えることができました。怖くても嫌になっても挑戦をやめず、頑張ることができました。私は自分のしてみたいことに挑戦してみることで、少し成長できました。皆さんもぜひ自分の夢や目標に挑戦してみてください。そこから可能性の幅が広がると思います。



### 中学部3年 鶴崎陽仁さん

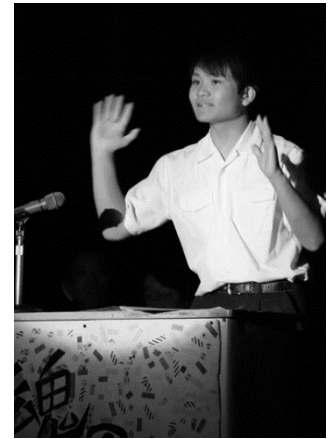
僕は4月から奈良県立ろう学校に進学する予定です。僕が松山聾学校でできるようになった大切なことは、分からない時は、分からないと正直に言うことです。これは本当に大切なことです。もし、分かるふりをしていたら、先生は「この人は分かっているな」と判断をして、授業を進めていってしまいます。そんなことが続くと、分からないことばかりの状態になって、将来、社会に出る時に困ります。僕は、「分かる」と嘘をつけば、先生は「この人できるなあ」とほめてくれるので、分かったふりをしていました。しかし、先生や友達から、それは



間違っていると言われ、良くないことに気づき、正直に言った方がいいと考え方が変わりました。それからは、他人と会話をする時、「この部分が分からないな」と思ったら正直に言うよう注意しています。皆さんも分かったふりはやめましょう。

### 中学部3年 吉岡圭介さん

僕は筑波大学附属聴覚特別支援学校を受験し、学科試験に合格することができました。4月からは、両親が暮らす愛媛県を離れ、千葉県で暮らすこととなります。この進路希望を叶えるために、次の三つのことが必要でした。一つ目は、洗濯や掃除など、身の回りのことを自分でできるようになることです。僕は、3歳の時から寄宿舎に入っており、その生活の中でこれを身に付けることができました。二つ目は、自分の行きたいところに公共の交通機関を使っていけるようになることです。これは、金曜に寄宿舎から家に帰る時に電車で単独帰省をしたり、休日に実家の四国中央市から新居浜や川之江に行く時、親の車ではなくバスを利用したりして、できるようにしてきました。三つ目は、初めて会った人とも友好を深めるためのコミュニケーションを取れるようにすることです。僕は、知らない人と話すことが苦手でした。そこで、良いコミュニケーション方法や、緊張した時に自分を落ち着かせる方法を探しました。そのおかげで、入試に行ったとき、試験が終わった後で、ほとんどの受験生と話をし面識を持つことができました。



在校生のみなさんには、しっかりと心に決めた夢を見つけてほしいと思います。迷いがあるまま決めた夢だと、困難があったときにすぐに気持ちが折れてしまうからです。そして、夢をみつけてからも、ただがむしゃらに頑張るのではなく、夢を叶えるために何が必要なのか、どんなことを身に付けなければならないのかを考え、確認をしてから努力をしてほしいです。努力の形は、できるようになるまで全力で取り組むのもいいし、少しずつコツコツ続けていくのもいいと思います。自分のペースでやっていくことが大事だと思います。しっかりと心に決めた夢を持ち、叶えるための方法を見つけて、無理なく自分のペースで頑張っていけるのなら、夢の実現にぐっと近づけると思います。頑張してほしいと思います。

それぞれに、自分の希望する進路に進むために努力をして、できることを増やしたのですね。進路希望を叶えるためには、教科の勉強以外にも、努力をする必要があります。では、一体どんなことを身に付けていけば良いのでしょうか。

松山聾学校には、「**個人のキャリア発達チェック表**」というものがあります。これを使うと、社会に出ていくときにどんな力が必要になるか、その力が現在どの程度身に付いているかを自分でチェックできます。自分には、今、どんな力が身に付いていて、これからどんな力を付けていく必要があるのかが分かれば、夢に向かって一直線に努力していくことができます。自分だけの判断では自信がない、という人は、保護者の方や、自分の授業を担当している先生方に評価をお願いすると、客観的で間違いの少ない評価が出ます。これからもぜひ活用してみましょう。

